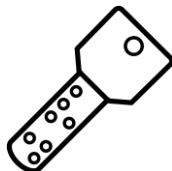


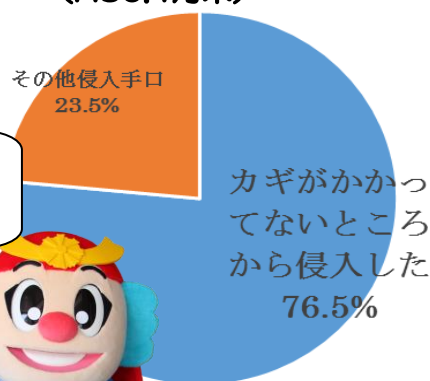
# 安全・安心まちづくり News 第141号

## 住まいの安全は どう守る?



「防犯」は特別なことでなく、暮らしの中にルーティンとして取り入れることで、無理なく実行できます。「ひと手間」かけることを惜しまず、安全と安心を自分の手でつかみましょう。

住宅対象侵入盗の手口  
(H30.4月末)



カギかけは基本!

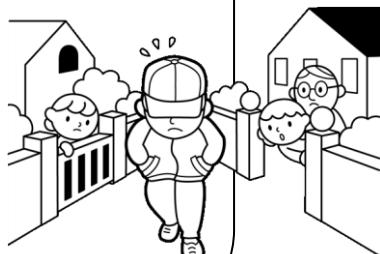
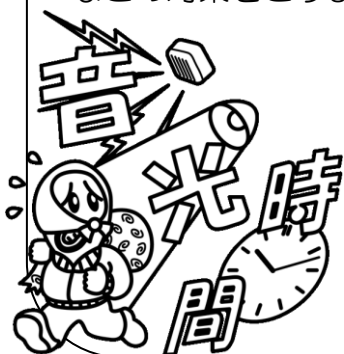


### こんな家が狙われる?!

- 袋路や木々で人目につかない
- 新聞受けに新聞や郵便物がたまのまま
- 洗濯物が干しっぱなし
- 玄関の周辺に、家のカギを隠してある
- 窓などに錠がひとつしかついてない
- 暗くなっても電気がつかない
- カーテンが開いて中が丸見え
- 車庫はあるが、車がない
- 窓や2階バルコニーへの足場となる物がある
- オートロックや防犯カメラが設置されていない

「音・光・時間（侵入するのに5分以上時間がかかると、どろぼうはあきらめるといわれています。）・人の目」は、どろぼうが嫌う要素だといわれています。

- センサーブザー、防犯砂利
- センサーライト
- 防犯カメラ
- カギをふたつ以上つける
- 防犯性能の高い錠に換えるなどの対策をとりましょう。



### コミュニケーションという防犯も!

最近では、住民同士のコミュニケーションが希薄になり、外部から侵入者が来ても気づかないことも。住民同士挨拶することや防犯について話し合いコミュニケーションを深めることは、手間も費用もかからない防犯対策の一つです。



# 6月9日

日は、我が家のカギを見直すロック（69）の日です。

「私の家の防犯性能は?」「カギはこじ開けにくい丈夫なものかな?」

6月9日ロックの日にあわせ、大切な家族と財産を守るため、住まいの防犯対策を見直しましょう。

